

運賃・料金改定の実施について

えちごトキめき鉄道では、2020年1月16日に北陸信越運輸局に対し運賃及び料金の変更認可を申請しておりましたが、改定運賃の適用方法について申請内容を一部修正の上、2020年3月2日に認可を受けました。

これにより、2020年4月1日から運賃及び料金の改定を実施いたします。

ご利用の皆さまにはご負担をおかけすることとなりますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 改定の内容

(1) 改定理由

えちごトキめき鉄道(株)は、北陸新幹線の開業に伴い、JRから分離される並行在来線の運営を担い営業運転を開始しました。開業から5年目を迎えた現在は、安定した運行により、毎日1万1千人あまりの沿線市民や観光客の皆様からご利用いただいています。

一方で、北陸新幹線の開業後における特急列車の廃止や新潟方面との直通列車の減便等による影響、また安全運行に不可欠な鉄道施設の維持補修・設備更新が当初想定していた以上に多額に及んでいることなどから、当初の収支計画よりも損益が厳しい状況です。

今後も、老朽施設の大規模更新が想定されることから、このままで推移した場合、赤字幅が更に拡大するなど、長期にわたる安定経営は困難となることを見込まれます。

厳しい経営状況を踏まえ、できる限りの経費削減策及び増収策を実施しているところであり、また、開業当初から国や県、沿線自治体から、安定経営に対する補助金をいただいています。経営状況が好転するまでには至っていません。

開業時の経営基本計画では、国、県、沿線市の安定経営支援を受けた上で運賃を当時のJRの1.3倍程度まで引き上げてはじめて経営が成り立つ見通しでしたが、トキ鉄では、運賃の急激な変化を緩和する措置として開業から5年間はJR運賃並みに据え置くこととしていました。これまで、全国の並行在来線他社の中でも最も低い運賃水準で運行サービスを提供してきましたが、厳しい経営状況に鑑み、経営改善を進めていくため、このたび経営基本計画の前提であり、並行在来線の概ね他社並みの水準でもある30%相当の値上げを行うこととし、運賃改定を行うものです。

(2) 改定の概要

当社の旅客運輸収入全体で30%の改定を行います。

ア 普通旅客運賃

15kmまで「表定制運賃」を用い、16kmからの運賃は「対キロ区間制運賃」により算出、16kmから50kmまでは5kmごと、51kmからは10kmごとに運賃を設定し、以下の運賃改定を行います。

	増加率*1	改定率*2
普通旅客運賃	平均 33%	34.5%

*1 増加率 改定運賃の上昇率

*2 改定率 改定運賃による増収見込み率

イ 定期旅客運賃

通勤定期及び通学定期旅客運賃は「表定制運賃」を用い、以下の運賃改定を行います。なお、定期旅客運賃は通勤及び通学の合計では平均19%の増加率となります。

	増加率	改定率	平均割引率
通勤定期旅客運賃	平均 33%	33.0%	51.0% (現行 50.8%)
通学定期旅客運賃	平均 15%	15.0%	73.7% (現行 69.5%)

ウ その他

特別企画乗車券（おトクなきっぷ）については、運賃改定認可を受け、今後北陸信越運輸局に届出を行う予定です。

エ 現行・改定運賃・料金比較表 別紙のとおり

2 実施予定日 2020年4月1日

3 鉄道部門の収支の実績及び推定

(単位：百万円)

項目	2018年度 (実績)	2020～2022年度 (3年間平均)	
		現行	改定
収入*	3,844	3,763	3,954
原価*	4,551	4,262	4,262
差引	▲707	▲499	▲308
収支率	84.5%	88.3%	92.8%

*申請書上の計算方式によるものであり、決算書類上営業収益、営業費とは異なります。

4 運賃・料金収入内訳

(単位：百万円)

項目	2018年度 (実績)	2020～2022年度（3年間平均）	
		現行	改定
定期外 (料金を含む)	517	498	670
定期	190	171	204
合計	707	669	874

5 需要見通し

(単位：千人)

項目		2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019年度 (推定)	2020年度 (推定)	2021年度 (推定)	2022年度 (推定)
定期外		1,592	1,524	1,503	1,482	1,462	1,447	1,430
定期	通勤	395	411	400	393	386	378	371
	通学	2,121	2,162	2,115	2,064	1,985	1,928	1,899
	計	2,516	2,573	2,515	2,457	2,371	2,306	2,270
合計		4,108	4,097	4,018	3,939	3,833	3,753	3,700
対前年度比		100.9%	99.7%	98.1%	98.0%	97.3%	97.9%	98.6%

6 設備投資実績・計画

(1) 設備投資実績と計画

(単位：百万円)

項目	2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019年度 (推定)	2020年度 (推定)	2021年度 (推定)	2022年度 (推定)
安全運行の推進	1,088	266	473	430	375	531	345
サービスの提供等	33	0	186	47	355	3	7
合計	1,121	266	659	477	730	534	352

(2) 主要プロジェクトの内容

ア (仮称) 押上新駅設置事業 (糸魚川市地域公共交通協議会から受託)

目的 日本海ひすいライン糸魚川駅梶屋敷駅間に新駅を設置する。

効果 周辺住民及び施設利用者の利便性が向上する。

工事費 約4億円 (トキ鉄受託分)

開業予定 2021年3月 (ダイヤ改正時)

イ 変電所更新事業（8箇所）

目的 老朽化に伴いトキ鉄の全変電所を順次更新する。

効果 老朽化に伴う故障による輸送障害リスクが解消し、安全安定輸送が確保される。

工事費 約 40 億円

完了予定 2035 年度（全箇所完了予定）

7 これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

開業以降の厳しい経営状況を踏まえ、開業当初から国、県及び沿線 3 市から安定経営に対する支援を受けているほか、これまでに列車のワンマン化や利用実態に合わせた減車等を行うとともに、社員を 1 割削減するなどの経費削減を進める一方、リゾート列車「雪月花」を活用したインバウンドを含む誘客促進、二本木駅などの駅の観光拠点化、各種企画切符やトキ鉄グッズの販売、遊休資産の活用などの増収確保に努めています。

今後も更なる経営改善の推進と並行し、引続きお客様にご利用いただけるよう利便性の向上に努めるとともに、地域公共交通事業者として地域のみなさまと地域の観光振興や交流人口拡大といった地域振興に向けた取り組みを行ってまいります。

8 運賃・料金の多様化の内容

(1) 乗継割引の継続

2020 年 3 月末に設定期間が終了する、他社にまたがる区間の乗継割引のうち、当社区間分は継続します。

(2) 「トキめきホリデーフリーパス」

連続する土休日の 2 日間管内路線が乗り降り自由なきっぷです。（2020 年度に向け利用日、有効期間等の見直しを検討中です。）

(3) 自動車運転免許返納者等を対象とした割引の実施

自動車運転免許証返納者や高齢者の利便性向上及び鉄道利用促進のため、(2)のきっぷの割引を 2020 年度に向けて検討します。

(4) 「ひすいきっぷ・ひすい往復きっぷ」「はねうまきっぷ・はねうま往復きっぷ」

日本海ひすいライン（糸魚川駅・直江津駅間）または妙高はねうまライン（妙高高原駅・新井駅間）をご利用のお客様で、JR の「しらゆき W きっぷ」をお持ちの方がご購入いただけます。トキ鉄と特急しらゆきを乗り継ぐ際トキ鉄乗車料が割引になるきっぷです。

（2020 年度に向け有効期間等の見直しを検討中です。）

9 利用者サービスの向上策

経営改善と並行して、引続きトキ鉄をご利用いただけるよう、以下のような取り組みを進めてまいります。

(1) 乗継割引の継続

2020年3月末に設定期間が終了する、他社にまたがる区間の乗継割引のうち、当社区間分は継続します。

(2) 列車運行状況の提供

スマートフォン等で列車運行状況をリアルタイムで見ることができるサービスを開始します。

(3) 自動車運転免許返納者等を対象とした割引の実施

自動車運転免許返納者や高齢者の利便性向上及び鉄道利用促進のため割引を実施します。

(4) 地域貢献

リゾート列車「雪月花」やイベント列車を活用し、これまで以上に地域観光資源の情報発信を行い、交流人口拡大に努めます。

(5) 地域と連携した駅の活性化

当社の二本木駅の事例のように、地域活動の拠点のひとつとして駅を活用いただき駅及び地域の活性化が図られるよう駅舎の一部開放等の方策を検討します。

10 情報へのアクセスについての情報（運賃・料金に関するお問い合わせ先）

- (1) 営業部営業課 025-546-5520（代表）（8:30～17:30 土日祝日を除く）
- (2) トキ鉄ホームページ <https://www.echigo-tokimeki.co.jp/>

